



陣屋小だより

学校教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和8年2月2日

第10号

あきらめずに学ぶことの大切さ

校長 保戸田雅之

暦の上では間もなく春ですが、朝夕の冷え込みに子どもたちの頬も赤く染まる日々が続いています。近隣の学校では、インフルエンザが猛威をふるい、学級・学年閉鎖が相次いでいますが、陣屋小は無事です。ご家庭での体調管理の賜物であると感謝いたします。

朝、登校を見守っていると、交通公園で縄跳びや一輪車で遊んでいる陣屋っ子がたくさんいます。何回引っかかっても、何度転んでも、あきらめずに頑張る姿に感心させられます。

学校生活では、勉強や運動、友達との関わりなど、たくさんの挑戦があります。子供たちは新しいことを学ぶ中で、うまくできないことや壁



にぶつかることも少なくありません。そのような時、「無理」「できない」とあきらめてしまうのは簡単です。しかし、あきらめずに続けることで、自分の力を伸ばし、自信を育むことができますと私は考えています。

校内を回って授業を見ていても、算数の難しい問題に苦戦しながらも友達と一緒に考え続けたり、タブレットの画面とにらめっこして、必死に自分の考えをまとめようとしていたりする姿があります。失敗しても、そこから学び直すことで知識や技術が深まります。その繰り返しこそが、「あきらめない心」の成長につながるのです。むしろ、失敗しない方が、成長も期待できないのかもしれませんが。

また、「あきらめない心」は自分一人の力だけでは育けません。友達や先生の励まし、ご家庭の温かい見守りや声かけが必要です。お子さまが「できない」と感じた時、「一緒に考えてみよう」「挑



戦することが大切だね」と肯定的な言葉をかけていただくと、子供は安心し、もう一度挑戦する勇気を持つことができます。目標まで一気に届かなくても、小さな成功体



験の積み重ねによって、少しずつ力がついていきます。

今後も学校では、失敗を恐れずに挑戦できる学習環境づくりに努めてまいります。ぜひ、家庭でも、お子さまの努力を認め、励ます機会を多く持っていただければ幸いです。学校と家庭とが連携し、子供たちの「あきらめない心」を育てていきましょう。

不適切な投稿、いじめや暴力の未然防止

最近、学校でのいじめやけんかの様子をスマートフォンで撮影し、SNSなどに投稿する事例が報道されています。こうした行為は、子どもたちの心に大きな傷を残し、学校が安心して過ごせる場所ではなくなってしまう恐れがあります。また、SNS上で動画が広まることで、誹謗中傷が起きるなど「人権侵害」にもつながります。

- ・むやみに写真や動画を撮らないこと
- ・不適切な画像を SNS などに投稿・拡散しないこと
- ・困ったことがあれば大人に相談すること

を、ご家庭でもご指導くださいますようお願いいたします。

また、いじめや暴力は決して許されない行為です。誰かを傷つけてしまった、または傷つけられて困ったときは、すぐに先生や家族に相談するようお声がけください。いじめや暴力を見たり知ったりした場合も、必ず大人に知らせるようお話してください。

お子さまが安心して学校生活を送れるよう、インターネットや SNS の使い方、いじめや暴力のない環境づくりについて、保護者の皆さまとともに取り組んでまいりたいと思います。引き続きご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。



ホームページで教育活動の様子を紹介しています。ぜひ、アクセスをお願いします。

陣屋小学校 HP <https://e-jinya-c-niiza.edumap.jp/>